

鹿嶋通信

菅谷つよし後援会

2022年1月 第18号
編集発行人
後援会会長 石附 征夫
鹿嶋市宮下5-9-8
Tel 0299-82-7975
Mail
sugaya2014-kashima@yahoo.co.jp



2022年正月の鹿嶋神宮鳥居前の賑わい

中心市街地活性化事業（21億円）

昨年末に、鹿嶋市宮宮中地区駐車場が完成しました。お正月に間に合わせるためか急ピッチで整備が進み一部が使用できるようになりました。年末年始や休日は有料となるが平日は無料です。隣接地に整備予定の子育て支援センターと歴史資料館、神宮参拝者を含めた中心市街地来訪者のために約2億円の事業費（広場・トイレ含む）で整備します。しかも、歴史資料館については、4年前は「白紙」でしたが今回は「調整中」（2021年12月現在）です。

錦織市長の公約でスタートしましたが、8年間の任期中に完成した施設はこの駐車場と道路のみです。事業再検討のため来年度予算は暫定とし、次期市長に委ねることが賢明な判断なのではないでしょうか。

新年明けましておめでとうございます

2022年を迎えました。コロナ禍の2年間が過ぎ、経済活動も市民生活もまだまだ回復していません。ワクチン接種3回目も開始されましたが、新種のオミクロン株の感染拡大が第6波の兆候を見せております。

今年は、4月に鹿嶋市長、7月に参議院議員、12月に県議会議員選挙があり、そして来年は統一自治体選挙で鹿嶋市議会議員選挙となります。鹿嶋市の未来は厳しい状況も予想されますが、ポストコロナに向けて未来の鹿嶋っ子に責任を持って希望ある鹿嶋を引き継がなければなりません。

本年も議会活動に全力で取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

鹿嶋市議会議員 菅谷 毅



完成した新設道路と駐車場

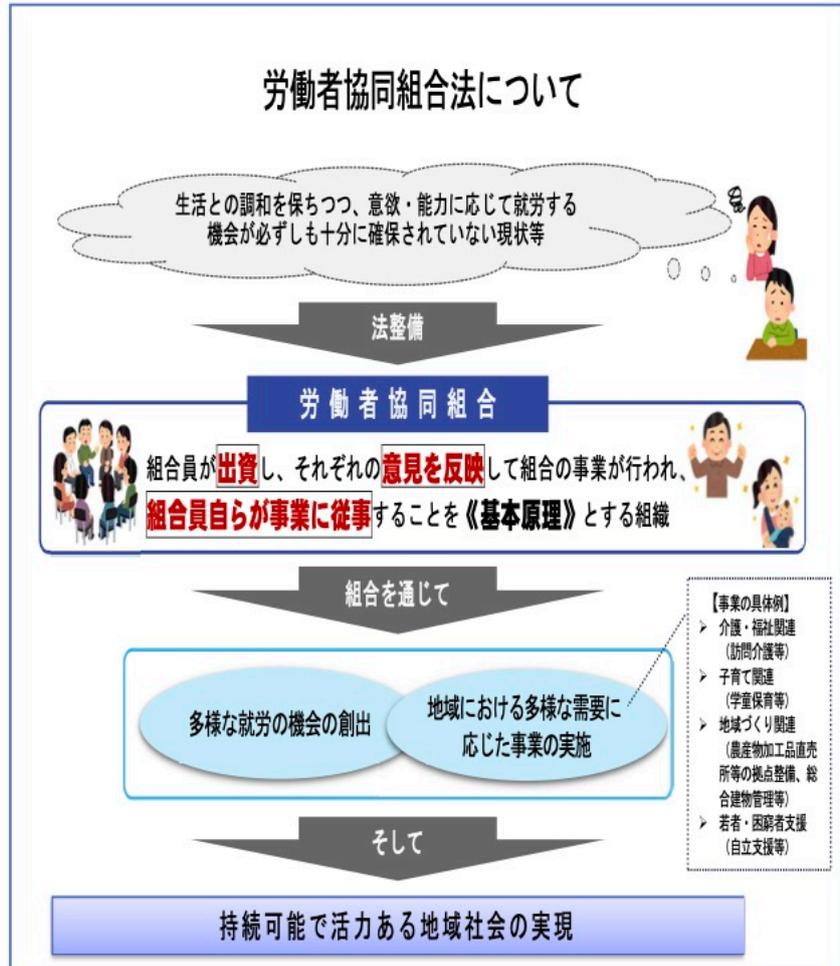
2021年9月議会報告（一般質問）

新しい働き方の提案

2020年、臨時国会において全会一致で「労働者協同組合法」が成立しました。株式会社などに雇用される働き方ではなく、農協や生協のように労働者自らが出資し経営にも関わりながら労働するという新しい働き方です。

NPOとも違いボランティアでもないので持続性が高く、剰余金は従事分量による配分が可能で、コロナ禍で非正規雇用から失業している現状を打開するには有効な制度です。広島市など先進自治体では地域課題を解決するために有効だとして積極的に支援しています。

今年の秋までに法律が施行されるため、鹿嶋市でも推進計画を策定すべきで、社会福祉協議会などとも協力して、設立までのサポートや補助制度、NPO法人からの移行支援も検討すべきと訴えました。



厚生労働省ホームページより

2021年12月議会報告



岸壁・地盤改良工事中の鹿嶋港外港

洋上風力発電から鹿嶋の将来展望は

都市経済委員会で洋上風力発電の基地港として工事の進む外港の視察と国交省鹿嶋港湾空港事務所からの説明を受けました。政府は2050年までに、カーボンニュートラル（炭素排出量実質ゼロ）を目指すとしており、再生可能エネルギーによる発電への期待が高まっています。指定された4箇所の基地港の内太平洋側は鹿嶋港のみであり、立地企業や周辺地域を含めた地域振興への影響は大きいです。

一般質問でも取り上げ、市長からは、「産業構造を抜本的に転換し、次なる大きな成長につなげていきたい」との答弁がありました。化石燃料や原子力からも転換を果たし、持続可能で地球環境にやさしいエネルギーによる新たな産業への展望を持つべきだと訴えました。